

## 第1回あま市健康づくり計画策定委員会 要約

日時：令和8年5月19日（火）午後2時～午後2時40分

場所：あま市役所 2階 B会議室

### 1. 委員長及び副委員長の選任

・事務局・委員の互選により、以下のとおり決定した。

委員長：下方辰幸委員（医師代表）

副委員長：渡辺治委員（歯科医師連絡協議会代表）

### 2. 議論された主な内容

【（1）国・県計画の策定状況とあま市の計画について】

・国の「第3次健康日本21」では、健康寿命の延伸、健康格差の縮小、ライフコースアプローチ、自然に健康になれる環境づくり等を重視していることを確認した。

・愛知県においても、生涯を通じた健康づくりや健康格差縮小を基本方針としていることを共有した。

・あま市では、健康づくり・歯と口腔保健・食育を一体的に推進してきた経緯を確認した。

【（2）「第2次あま市健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育推進計画」の評価及びあま市の課題について】

<全体評価>

・85指標中、「目標達成」14.1%、「改善」38.8%となり、全体として一定の成果が見られた。一方で、「栄養・食生活」「食育」の分野では悪化傾向がみられた。

<主な評価・課題>

#### ①栄養・食生活

・若年女性の朝食欠食対策や野菜摂取啓発を実施した。しかし、野菜摂取量不足、若年層の朝食欠食、高齢者の低栄養傾向が課題となった。

#### ②身体活動・運動

・運動動画配信や市の歌に合わせた体操等を実施した。

・すべての項目で改善がみられ、一部は目標達成となった。

#### ③こころの健康

・相談窓口周知や睡眠啓発を行った。一方で、睡眠による休養不足やストレス解消状況の停滞が課題となった。

#### ④たばこ・アルコール

・防煙教室や適正飲酒啓発を実施した。

・保護者喫煙率は改善したが、中学生のたばこに対する意識低下や女性の多量飲酒

割合悪化が課題となった。

#### ⑤健康管理

- ・がん検診の Web 予約や休日実施など受診しやすい環境整備を図った。しかし、肺がん検診等の受診率は伸び悩んでいる。

#### ⑥歯と口腔保健

- ・乳幼児や高齢者への口腔機能の維持向上についての支援を継続した。一方で、中学生のむし歯、歯肉炎、給食後歯磨き実施率の悪化が課題として挙げられた。

【(3)「第3次あま市健康づくり計画・歯と口腔保健計画・食育推進計画」の策定について】

- ・第3次計画では、「地域社会で楽しく健康づくりに取り組む活力あるまち」を目指す方向性が示された。
- ・基本方針として、以下の4点を掲げることが示された。

#### ① 分野横断による一体的な健康づくり

#### ② ライフコースアプローチによる切れ目ない支援

#### ③ 家族・世帯を踏まえた健康づくり

#### ④ 自然に健康になれる環境づくりと健康格差縮小

- ・特に、個人努力だけでなく、日常生活の中で自然に健康的な行動を選択できる「0次予防」の視点を重視する方針が示された。

### 3. 委員からの主な意見

- ・渡辺委員より、コロナ禍を経て学校生活や健診、歯科保健の状況が大きく変化しているため、第3次計画ではその変化を踏まえた内容にすべきとの意見があった。また、計画素案完成後ではなく、作成段階から現場の意見を反映できる機会を設けてほしいとの要望があった。
- ・事務局からは、第2次計画を継承しつつ、新たな生活様式やコロナ後の健康課題を踏まえて検討を進めること、各団体ヒアリングや個別意見聴取を実施しながら素案を作成していく方針が示された。

### 4. 今後のアクション・スケジュール

- ・市民団体等へのヒアリング・情報収集を実施する。
- ・課題整理及び目標指標を設定する。
- ・第2回策定委員会（9月予定）にて計画素案を提示する。
- ・第3回策定委員会（11月予定）にて内容検討を行う。
- ・令和9年1月にパブリックコメントを実施する。
- ・第4回策定委員会（2月予定）にて計画書案を提示する。
- ・令和9年3月に計画を完成予定。